

トソー株式会社

(東証スタンダード市場 証券コード：5956)

TOSO
color

第84期のご報告

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日



窓辺をかえる、明日が変わる。

TOSO



社長就任のご挨拶

平素は格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、誠にありがたく厚くお礼申し上げます。
この度、代表取締役社長に就任いたしました、八重島真人です。

誠に微力ではございますが、社業の発展のため、また皆様のご期待に沿えるよう精進してまいります。引き続き格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、トソー株式会社は、カーテンレールから始まった会社です。

普段の生活で意識することはあまりないと思いますが、カーテンレールは多くの方のご自宅に付いている、非常に身近な製品です。

カーテンレールの役割は、カーテンを美しく見せること、そしてスムーズに開け閉めできるようにすることです。決して主役ではありませんが、カーテンレールがなければカーテンを掛けることはできません。そんなカーテンレールのように、ひとつのパーツに過ぎなくても、豊かな空間づくりに無くてはならない存在でありたい、それが当社に根付いた価値観です。

空間は住まいだけではなく。職場、学校、遊ぶ場所、食べる場所、もっとあります。その空間すべてで、当社が培ってきた技能・技術を活かして貢献していきたいと思っております。

これまで培ってきた想いを大切にしながら、当社の事業を拡大してまいりますので、株主の皆様のご引き続き変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 八重島真人

略歴

1967年、兵庫県出身。1989年京都産業大学法学部卒業後、トソー株式会社に入社。
営業、商品開発部門を経験したのち、2012年に特販営業部長に就任。その後2015年営業副本部長、2019年管理本部長を経て、2024年6月に代表取締役社長に就任。

第84期（2024年3月期）の事業概況

経営ビジョン「Vision2025」第2フェーズの最終年度として、引き続き高収益体質への転換と成長戦略を推進

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種制限の緩和に伴って経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調にて推移いたしました。しかしながら、不安定な国際情勢や中国経済の先行き懸念、資源・エネルギー価格の高騰、円安など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ事業に関連の深い建設市場におきましては、新設住宅着工戸数、非住宅向けの建築着工床面積ともに減少傾向にて推移しました。引き続き原材料価格の高止まりや物価上昇等の影響もあり、取り巻く経営環境は厳しい状況が続きました。

このような環境の下で、当社グループは「Vision2025」第2フェーズ（2020～2023年度）の最終年度として、引き続き主力の住宅分野の深耕とあわせて、非住宅分野や海外事業、新規分野への営業活動を展開し、成長戦略を推進しました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は21,605百万円（前期比1.4%増加）、営業利益は483百万円（前期比33.5%減少）、経常利益は534百万円（前期比28.9%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は294百万円（前期比19.7%減少）となりました。

今後の見通しにつきましては、長期化するウクライナ情勢の

動向や中東情勢、中国経済の動向等、今後も地政学的リスクによるサプライチェーンの混乱や原材料・エネルギー価格の上昇は続くと考えられています。当社グループ事業に関連の深い建設市場においては、新設住宅着工戸数の減少が継続とともに、非住宅市場でも特需による一時的な増加が見込まれるものの、人手不足や原材料価格上昇等の影響により不透明な状況が継続と想定されます。

このような環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響等により停滞した経営ビジョン「Vision2025」の目標を見直し、「Vision2025」第3フェーズ（2024～2026年度）を策定いたしました。この実現に向け、引き続き新製品開発力や市場への対応力の強化に取り組んでまいります。

中長期の展望では、住宅分野の深耕とあわせて需要の拡大が見込まれる宿泊施設をはじめとした非住宅分野の取り込みを進め、アジアを中心とした海外販売の強化や当社グループの保有技術を活用した用途開発、ステッキ等福祉用品等の新規分野でのビジネス領域拡大に取り組み、持続的な企業成長を図ってまいります。また、原価低減、総費用低減の徹底を図り、高収益体質への転換と競争力強化に取り組んでまいります。

■1株あたり配当金の推移

	第83期 (2023年3月期)	第84期 (2024年3月期)
中間配当金	5円	5円
期末配当金	5円	5円
合計(年間)	10円	10円

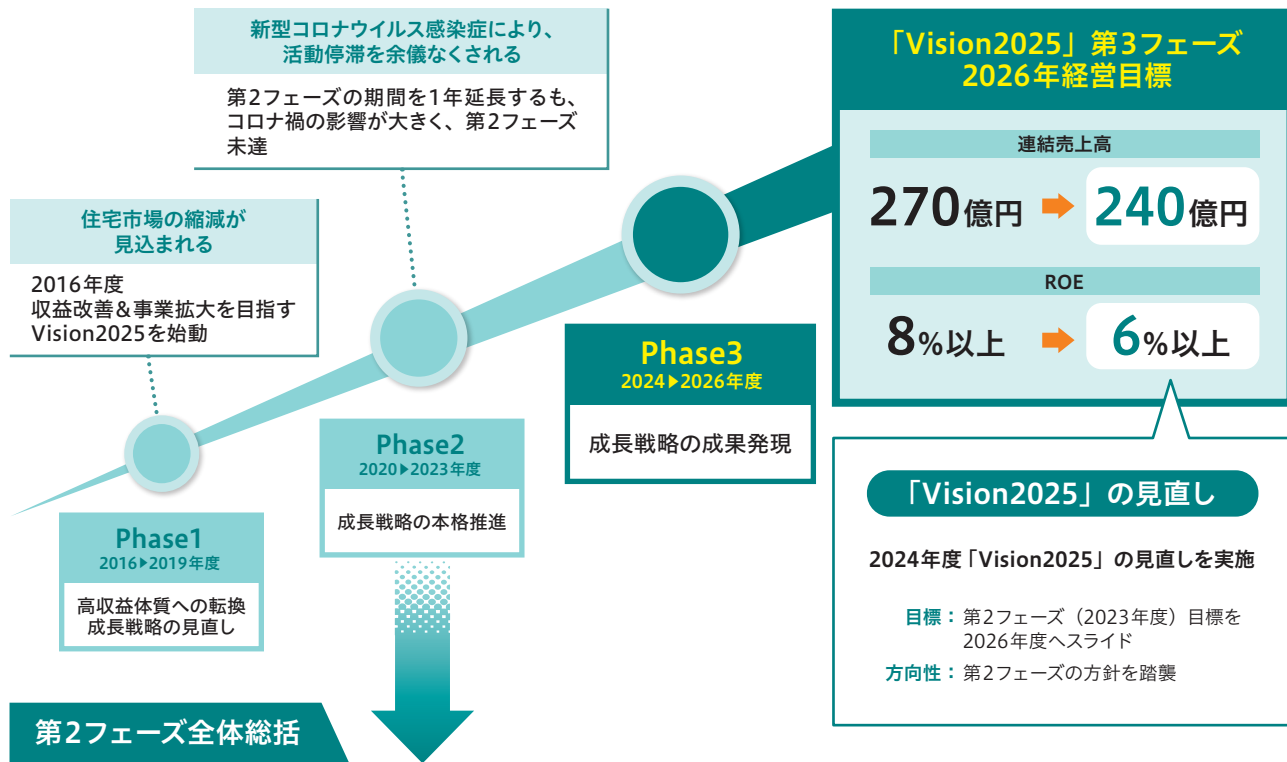


詳細な決算説明を
動画で公開しています。
是非ご覧ください。



「Vision2025」中期経営計画 第3フェーズ（2024-2026年度）が始動

第2フェーズの状況を踏まえて「Vision2025」の見直しを行いました。
第3フェーズ中期経営計画として、目標達成に向けた活動を推進してまいります。



成果

- コアビジネス市場（住宅市場）において、窓周辺への領域拡大を推進
- 成長戦略においては、非住宅分野・用途開発・海外販売・福祉用品の売上およびシェア拡大に向けた取り組みを推進し、成果も発現しつつある

課題

- 新設住宅着工数の減少に伴う住宅市場縮小による、コアビジネスの売上減
- 原材料価格上昇や為替変動に伴う原価上昇（利益圧迫）

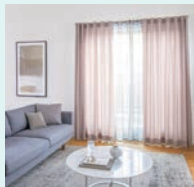
成長戦略等にて一定の成果は得られたものの、「Vision2025」第2フェーズ目標は未達

「Vision2025」第3フェーズ

重点施策

1 コアビジネスにおける「TOSO」特有の新しい企業価値創造

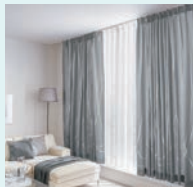
(1)カーテンレールNo.1メーカーとしての優位性の極限化



新たなカーテンスタイルの訴求



窓周辺への付加価値提案



住宅電動分野の強化

(2)顧客視点のサービス、プロモーションの徹底

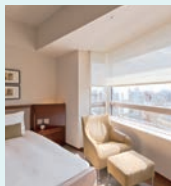


SNSやオウンドメディアを活用したプロモーションの強化

5.0 ★★★★★

顧客満足度向上に向けた取り組み推進

2 成長戦略への重点投資による事業領域拡大



非住宅分野
営業体制強化による宿泊・医療施設等の獲得推進



用途開発
当社保有技術や機能・機構等を活用した既存製品の販売領域拡大



海外販売
海外ビジネス拡大に向けた取り組み強化



新規ビジネス領域
新たな成長市場の模索・戦略的投資

3 持続的な企業成長を実現するための強固な経営基盤の再整備



利益体質強化に向けた生産体制・コスト構造の再構築



エンゲージメント向上のための職場環境づくり

資本コストを意識した経営

- 配当方針の変更
- 機動的な自己株式の取得
- キャッシュアロケーション

サステナビリティへの取り組み

- GHG排出量・廃プラスチック廃棄量削減
- ダイバーシティの推進、人材育成
- 定量目標項目の設定および開示

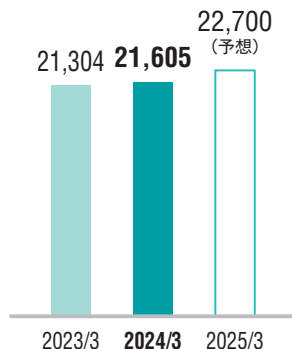


POINT

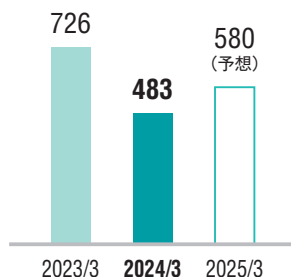
- 非住宅分野や海外、福祉用品の販売が前期を上回ったことで、増収
- 原材料価格の高騰や為替変動の影響により、減益

(単位：百万円)

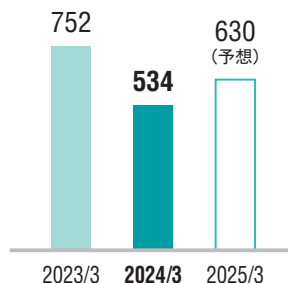
売上高



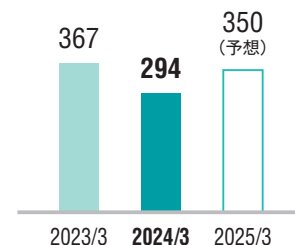
営業利益



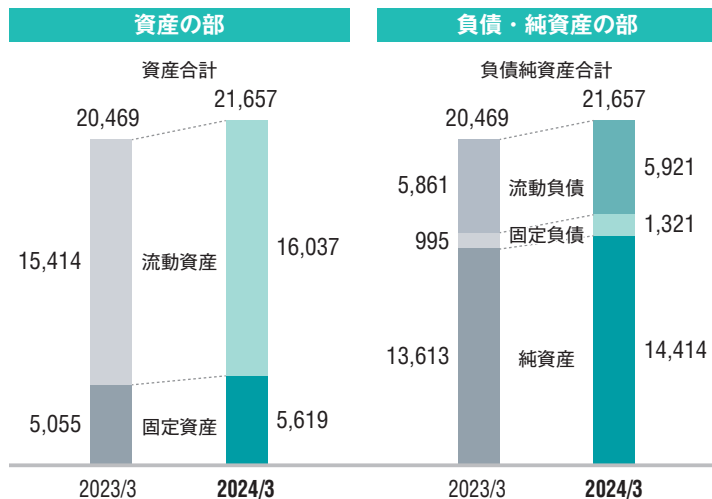
経常利益



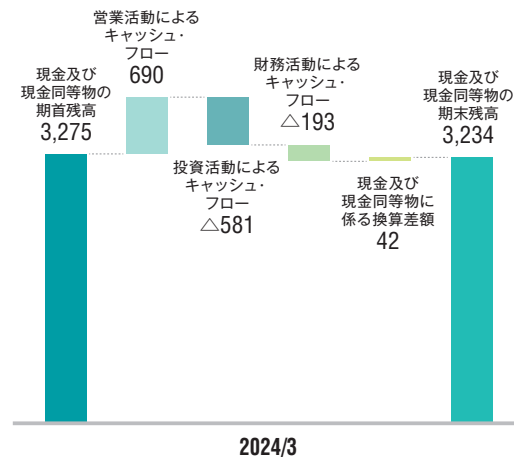
親会社株主に帰属する
当期純利益



連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー計算書



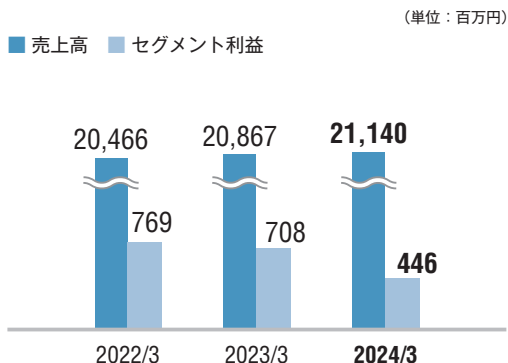
室内装飾関連事業



国内シェアNo.1のカーテンレールを中心に、ブラインド、ロールスクリーン等の窓装飾品や室内間仕切類などを開発・製造・販売しています。

当期の営業概況

ロールスクリーンやブラインド等へ展開している「コルトシリーズ」の、住宅の窓回りをトータル提案できるラインアップへの刷新や、国内外のホテルやオフィスで人気が高まっているカーテンの新スタイル「ウェブスタイル」を手軽に楽しめるカーテンレールの発売を行いました。また、新製品展示会の開催や国内外の展示会への出展等、製品の拡販に努めました。結果、住宅分野の売上が前期を下回ったものの、成長戦略として推進している非住宅分野での物件獲得や窓以外の周辺領域への販売、海外販売等が好調に推移したことで、売上高は21,140百万円（前期比1.3%増加）となりました。セグメント利益については、原材料価格の高騰や営業活動費用の増加等が影響し、446百万円（前期比37.0%減少）となりました。



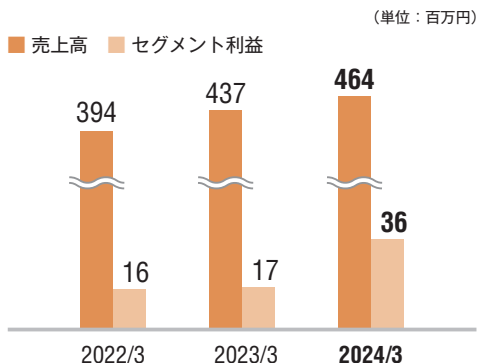
その他の事業



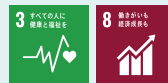
ステッキを中心とした福祉用品を開発、販売しています。

当期の営業概況

国際福祉機器展（H.C.R.）への出展や新規獲得活動、既存取引先への提案など、ステッキ等の福祉用品の販売活動を推進しました。新規取引店の増加や既存取引先の扱い品目拡大等により、売上高は464百万円（前期比6.2%増加）となりました。セグメント利益については、価格改定等の寄与や各種費用の執行抑制等により、セグメント利益は36百万円（前期比108.4%増加）となりました。



サステナビリティに関する取り組み（社会） 健康経営の推進



当社は「人」こそが最も重要な経営資源であると捉え、すべての社員が長期にわたり健康で安心して働き続けられる会社であるために、健康経営を推進しています。健康に関するセミナーやウォーキングイベント、社内コミュニケーション促進を目的とした社内ブログやクラブ活動など、心身の健康増進に向けた取り組みを行っております。

これらの取り組みが評価され、2024年3月に「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」の認定を取得しました。

これからも当社は「全員活躍」をキーワードとして、すべての社員が意欲的に、安心して働き続けられる環境づくりを進めてまいります。

※健康経営優良法人認定制度とは

特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に、日本健康会議が認定する顕彰制度です。



2024
健康経営優良法人
Health and productivity



商品情報はコチラ

表紙写真コーナー

あなたの知らないコルトの世界

ロールスクリーンやブラインドなど多くの製品に展開しているベーシックなシリーズ「コルト」。壁紙や家具、建材などに合わせやすく、インテリア空間になじむカラーラインアップとリーズナブルな価格で長年ご愛顧いただいているシリーズです。コルトなら、リビングから寝室、子供部屋、和室、ランドリールームまで、家1棟すべての窓がカンタンにトータルコーディネート出来ます。窓はもちろん、間仕切りとしての使用もおすすめです。

オウンドメディア「Madoかけ」を公開



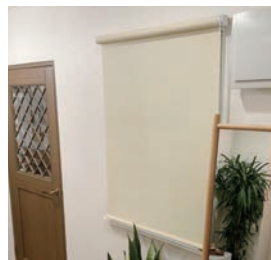
2023年12月に当社ホームページ上ににて商品やサービスに関する情報を発信するオウンドメディア「Madoかけ」を公開しました。あたりまえのように身近にあるのに、実は知らないことも多いカーテンやブラインド。新築・マイホーム計画、家づくり中の方に向けて、製品のメリット・デメリット、取付手順、おしゃれなインテリアになる製品の選び方などを紹介しています。



カーテン・ブラインドナビ
Madoかけ

TVドラマへの美術協力を行いました

2023年下期に放送された民放ドラマ『いちばんすきな花』『院内警察』等のドラマ内セットに当社製品が使用されました。



いちばんすきな花



院内警察

ドイツのブラインド・シャッター展「R+T 2024」に出展

2024年2月19日（月）～23日（金）にドイツ シュトゥットガルトで開催された「R+T 2024」に出展いたしました。3年に1度開催される当展示会は、出展社1,000社以上、来場者60,000人以上を誇る世界有数のブラインド・シャッターの見本市です。当社ブースにも大勢の方に訪れていただき、日本製カーテンレールの品質や機能を評価いただきました。今後も、成長戦略として掲げる海外販売の拡大を目指して、活動を行ってまいります。



株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援にお応えするとともに、当社株主への投資魅力を高めることなどを目的に株主優待制度を導入しております。

株主優待制度内容（割当基準日：3月末日）

保有株式数	継続保有期間*	株主優待内容
100株以上 300株未満	1年未満	なし
	1年以上3年未満	3年以上 図書カード1,000円贈呈
300株以上 500株未満	1年未満	なし
	1年以上 3年未満	優待商品（1,500円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（2,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
500株以上 1,000株未満	1年未満	なし
	1年以上 3年未満	優待商品（2,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（3,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
1,000株以上	1年未満	なし
	1年以上 3年未満	優待商品（3,000円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付
	3年以上	優待商品（4,500円相当）贈呈またはインドネシア共和国における植林活動への寄付



※継続保有期間とは、同じ株主番号で株主名簿基準日（毎年3月31日及び9月30日）の株主名簿に、1単元（100株）以上の保有を下記のとおり、連続で記載されていることをいいます。

1年未満 直近株主名簿に記載が2回以下 1年以上3年未満 直近株主名簿に連続3回以上6回以下記載 3年以上 直近株主名簿に連続7回以上記載

インドネシア共和国に おける植林活動

累計本数 **13,000本**

（2024年3月末日現在）

第71期（2011年3月期）より、株主優待制度に当社子会社の所在地であるインドネシア共和国における「植林活動への寄付」を設けております。ご協力いただきました皆様には、厚くお礼申し上げます。株主優待制度にお申し込みいただかなかった方々の優待相当額と合わせて当期は642,486円を寄付させていただき、植樹とメンテナンスを実施しました。今後も株主の皆様とともに環境保全活動に努めてまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

会社概要 (2024年3月31日現在)

会社名	トーソー株式会社
英文社名	TOSO CO.,LTD.
本社所在地	〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号
電話	03(3552)1211(代)
設立	1949年9月
資本金	11億7,000万円
主な事業内容	インテリア製品の開発、製造、販売 国土交通大臣許可内装仕上工事業(般-3)第16989号 ISO9001認証取得:JQA-QM5920製造本部/商品開発本部/品質保証部 ISO14001認証取得:JQA-EM2416つくば事業場/水海道事業場
従業員数	連結928名 単体623名

【役員】(2024年6月30日現在)

《取締役・監査役》

代表取締役社長	八重島 真人	(ヤエシマ マコト)
取締役	滝澤 靖久	(タキザワ ヤスヒサ)
取締役	森木 圭子	(モリキ ケイコ)
取締役(監査等委員)	齋藤 博一	(サイトウ ヒロカズ)
社外取締役(監査等委員)	江角 英樹	(エスミ ヒデキ)
社外取締役(監査等委員)	尾崎 毅	(オザキ タカシ)

《執行役員》

上席執行役員	栗山 忠久	(クリヤマ タダヒサ)
執行役員	本多 敏光	(ホンダ トシミツ)
執行役員	山本 航平	(ヤマモト コウヘイ)
執行役員	太田 博	(オオタ ヒロシ)
執行役員	平沼 靖雄	(ヒラヌマ ヤスオ)

【事業拠点一覧】

営業拠点	札幌支店、仙台支店、さいたま支店、東京支店、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、福岡支店 営業所14カ所
生産拠点	つくば事業場(茨城県)、水海道事業場(茨城県)、兵庫事業場(兵庫県)
物流拠点	流通センター(茨城県)、流通センター(兵庫県)、札幌配送センター、福岡配送センター
ショールーム	トーソープラザ(東京ショールーム、大阪ショールーム) TOSO Gallery(シンガポール)
連結子会社	サイレントグリス株式会社 トーソーサービス株式会社 フジホーム株式会社 P.T.TOSO INDUSTRY INDONESIA 東装窓飾(上海)有限公司

株式情報 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	10,000,000株
株主数	11,475名

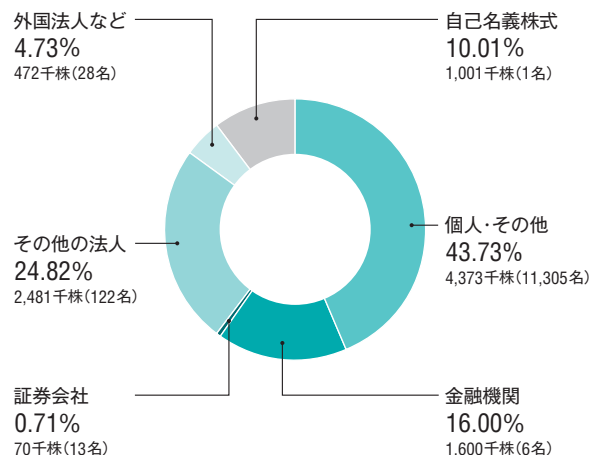
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トーソー取引先持株会	438	4.87
十和運送株式会社	414	4.60
株式会社みずほ銀行	408	4.53
株式会社三菱UFJ銀行	338	3.75
トーソー社員持株会	321	3.57
第一生命保険株式会社	222	2.46
株式会社きらぼし銀行	216	2.40
株式会社常陽銀行	215	2.38
みずほ信託銀行株式会社	200	2.22
INTERACTIVE BROKERS LLC	187	2.07

(注1)持株数は千株未満を、持株比率は小数点第2位未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。

(注2)当社は自己株式1,001千株を保有しております。

所有者別分布状況(株式数)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。
ホームページアドレス	https://www.toso.co.jp
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (フリーダイヤル) 取次事務はみずほ信託銀行株式会社 (トラストラウンジを除く) の本支店で行っています。
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

IRサイトのご案内

当社グループでは、ホームページにて即時情報開示に努めております。株主の皆様からのご意見・ご質問もお受けしておりますので、メール等にてお気軽にお寄せください。

<https://www.toso.co.jp/ir/>

TOSO IR

検索



インスタグラムのご案内

<https://www.instagram.com/toso1949/>



Instagram
公式アカウント
@toso1949



アカウントをお持ちの方はこちらから当社の情報をご覧いただけます。また、Instagramのアカウントをお持ちではない場合、「このページはご利用いただけません。」と表示される場合がございます。この機会に是非当社のInstagramもご登録ください。

トソー株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号
<https://www.toso.co.jp> 証券コード：5956



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。